

コロナ禍で ゴルフ場に追い風

ゴルフの後は全員でバーベキュー！



みんなゴルフで盛りこになっていました



ゴルフ場が取り組む“若年層の囲い込み”、 そして課題を探る

ゴルフ業界内でも「ゴルフは三密を回避でき、健康維持にも最適」、「若年層がゴルフに関心を示している」、「コロナ禍でゴルフを再開、あるいは新たに始める人が増えた」などといった声が多数挙がり、ゴルフはコロナ禍でも活況なスポーツとなっている。閉塞感のあるこのコロナ禍でレジャーの選び方にも変化があり、ゴルフ自体の魅力や価値が見直されている。そんな昨今、コロナ禍での若年層への対策や課題について10コースの経営者に話を聞くことができたので順に紹介していきたい。

まずは泉ヶ丘CCC（大阪、27日）の奥野将徳社長に登場いただく。「コロナ禍以前から、長期的な視野でクラブの未来を考えた時に解決すべき課題として、若い世代や女性の会員や来場者数を増やしていく必要性を強く感じておりました。例えば当クラブにおける49歳以下の若手会員の比率は、ゴルフ業界全体における49歳以下のゴルフファアの数と比べても半分以下と非常に少なくなっています。こうした現状に対し経営サイドとして強い危機感を覚えたとしても、どうしても現会員の皆さまにとって

は目の前の課題を解決していくこと、現会員のみなさまにとって居心地の良いクラブにしていくことが優先されてしまうというジレンマがありました。

そこで、昨年から会員組織のトップである理事会と相談を重ね、今年1月から「未来計画委員会」という委員会を新しく立ち上げさせていただきました。この委員会はその名の通り、10年、20年という長期的な視野でクラブの未来を考えた時に解決すべき課題を抽出し、解決へ向けたアクション、提案を行っていく委員会です。委員のメンバーには若手の会員5名になっていただき、より若者や女性にとって魅力あるクラブとなっていくために足りないところ、変えていくべきところを議論し、提案・実行していただいています。既に理事会へ若手会員制度の提案を行ったり、エチケツト委員会へ時代に即したドレスコードに変更してもらいたい旨の提案を行ったり、若手会員がより競技に参加しやすい環境づくりなどを進めていただいております。今後は未来計画委員会が主催する若手会員向けの競技会の実施も予定しています。

早朝完全セルフプレーは早朝は若者増加により期間拡大

OGA GOLF CLUB
早朝完全セルフプレー

大人料金
お一人様あたり
お一人様あたり
お一人様あたり

スタート時間

4/24(土)～9/4(土)全期	5:00～5:28	3,840円
5/30(土)～9/4(土)平日のみ	5:30～5:58	5,020円
6/10(土)～9/4(土)平日のみ	6:00～6:28	6,470円

メンバーシップコースとして「メンバー主体の運営」と「若者にとって魅力あるクラブづくり」という、時には相反することもある価値を、運営を担う弊社とメンバーとが一体となって作り上げていく。経営者としてメンバーがクラブの未来を真剣に考えてくださっている姿を見て刺激されるところにも、想定していた以上の推進力で物事が前に進んでいくのを心強く感じています。地道ではありますが、こうした活動を推し進めていくことがクラブの明るい未来を創っていくと信じています」

次は**男鹿GC**（秋田、18H）の國安玲佳社長。

「当クラブでのコロナ禍における若者対策については、『ゴルフは1日がかりのスポーツ』のイメージを払拭し、コロナ禍でも安心

してラウンド、もしくはゴルフを始めてもらえるように当方では早朝セルフプレー（5時スタート、時期は9月初旬まで）を強化しています。平成24年から完全セルフプレーとし導入していましたが、早朝は若年層が増えているため、今年からは時期・時間を拡大し、10月いっぱいまでとしました。秋田県では導入コースが少なく、またコロナ禍の感染予防（対面機会が少なく）としても大変好評をいただいております。年々予約数は増加しています。コロナ禍に併せて、これから熱中症対策にも取り組まなければならないシーズンですが、早朝時間のラウンドはこういった問題にも効果的です。ラウンド後の精算も、自動精算機を導入していることで朝の混雑時間でも回避することが出来ています。『5時にスタート、9時には終了。1日を有効に！』をゴルフをされている方へもPRし、コロナが収束してからゴルフを継続していただけるスタイルを確立させていこうと思います」

男鹿GCではプロショップにおいて、ジャックバニー、キャロウエイ、ニューバランスを採用し、若年層から人気を集め、問い合わせが増えている。これらのグッズを求め、20代のゴルファーも確実に増えているという。

次は**トヨコーCC**（千葉、18H）、**筑波国際CC**（茨城、18H）の本丈善社長。

「コロナ禍において、トヨコーCC、そして筑波国際CCではコースメンテナンスと食事、さらに若年層が納得する「コスパ」に注力するようになりました。

コース管理ではディボットがそのままにされないよう、コース管理課のみではなくマスター室も含めて修復に動いたり、ロストが増えて遅延が起きることを避けるために、木々の伐採に予算を投下し、ラフの刈り込みもさらにできるよう新機材も購入しました。

そしてレストラン部門でも、健康志向の高い若年層の女性を対象としたレストランのレディスメニューも追加し、少しの原価が上がっていたとしても、身体に優しい調味料、食材などを選ぶことを方針としています。

また、未来のゴルフ市場を支える若者により多くプレーしていただくために、若年層向けの期間限

定プランなどを出しており、コースの面でも若者にもっとゴルフ場を身近に感じてもらえるようにしています」

次は**明智GC**（岐阜、18H）の片桐涼支配人。

「都心部からのアクセス抜群の立地を活かして、当ゴルフ場では早朝スルー、午後スルー、薄暮ハーフの枠を増設しました。昨年からのコロナ禍にて、さらにできる限り幅広い時間帯でプレーできる環境を整えました。空いた時間に1人でもエントリーできる枠も設置しました。これにより会員様をはじめベテランのゴルファーが、初めたての若年層ゴルファーのデビュー戦に利用していただく回数が増えてきました。平日の午後3～4時からでも薄暮ハーフの受付は、週に3～4件ほどご予約いただいています。

夏場には、主力層の年配ゴルファーの来場回数が減ることは必須。毎年の猛暑日増加で激減、その空いた10時以降、午後スルー枠を、若年層に販売するために通常会員さま同伴が条件のバックティ利用の条件を下げ、ご利用を可能にするプランを設置して販売したと

ころ、非常に好評いただき予約数も順調に増加してきました。当クラブはバックティの総距離が6405ヤードと、どちらかという短い方ですので、レギュラーティでは物足りないと感じる若年層からのクチコミも多かった事もあります。

WEB予約プランに関してですが、一昔前に比べて非常にリーズナブルな価格になってきたものの、まだまだお金のかかるスポーツですので、少しでも価格を下げるために4人でエントリーを条件にデイスカウトを行い、ゴルフ仲間を増やすとプレーフィを抑えられるという仕掛けを始めました。ご年配層が主力のゴルフ場ですが、少しずつですが若年層が増えてきている事は間違いありません。

そして、まだ実施できていない計画段階の企画ですが、ペアスクランブルゴルフのコンペを計画中です。上級者同士のペアでは、無くて一人は、まだ100打を切ったことのないプレーヤーを、入れる事を条件に開催を考えています。ゴルフの上達を促進できる企画にできたら良いと考えています。

また、若年層ゴルフア向けに、

ゴルフ場で出るロストボールを綺麗に洗い、大きめのクリアBOX 2〜300球ほど入れてマスター室前に設置し、専用の柄杓に詰め放題（10〜15球取れます）とし、ワンコインで販売しています。こちらにも新品を買うよりもお得でギナーには、好評をいただいています。なかには新品同様のボールも入っているのです、さらにお得感があると思います。

全体的にどのくらい増えたかと言われるとまだ数値化できておらず、感覚的になりますが1割前後増加していると感じます」

次は、セブンハンドレッドC（栃木、18H）の小林忠広社長。

「ゴルフをやってみたくて思っているけど、挑戦するキツカケがないという方や、若い人や初心者にはハードルが高そうないメージ！と、なかなか手を出せずにいた29歳以下のメンバーを集めてイベントを実施しました。全くゴルフクラブを握ったこともないような若手に対し、スタート前にレッスンを行い、ランチ後にいきなりコースのデビューをさせるプログラムを行いました。

ゴルフは初心者がいきなりコース



スに出るのは難しく、コースデビューまで何カ月もかかってしまうと言われていますが、私自身としては、そこがゴルフのいけないところだと思っています。コースに出ても、広大なスペースとの爽快感と、ワンショットの緊張感を楽しんでもらいたいと思って企画しました。

参加者にゴルフに興味があるにも関わらず、経験してこなかった要因を聞いたところ：

- チャンスがなかった。周りの友人や家族で、やっている人がいなかった
- 興味はあったが、縁がなく「貴族の遊び」だと思っていた。以前から興味がありました！
- 経営者や医者ややっているイメージで、お金持ちしか出来ないと思っていました。

- 初心者がやってよいのか、教え

てくれる人がいないので不安でした、といった声が挙がりました。今後もU-29ゴルフ部の活動は定期的に企画し、ゴルフを楽しむ若者を増やしていきます」

次はいわむらCCC（岐阜、18H）の加藤浩次社長。

「当クラブは約3年半前に経営交代しましたが、戦略は当初から常に会員とプレーヤーの若返りと、彼らに訴求できるコース、設備、レストラン、サーピスの差別化でした。マーケティングは若者をターゲットにし、あらゆるSNSをフル活用し、ハウスもコースも徹底して若者に訴求する事を意識して改造してきました。標高600mと名古屋より気温がマイナス5℃低い爽やかな高原リゾートゴルフ場で、360パノラマの雲海が見られる「天空のコース」と呼ばれる雄大な景色が売りのコースで、SNSによる宣伝効果でそれを目当てに来る若者も増えました。

当クラブでは、土日の女性客は平均的に約20%で、そのうち20〜30代の若い女性は40%程度ですから、全体の約10%はお洒落で華やかな若い女性です。彼女たちは華やかでかなり存在感があり、10%

より遥かに多いイメージがありま
す。それにつれて若い男性もかな
り増えてきており、全体の30%位
は若い男性です。従って今後、男
女の若い層は40%近くに達するよ
うになると思います。当クラブの
会員数は約1800人ですが、経
営交代後、10%程度の会員がかな
り若返っており、それ以外にも2
年半ほど前に『Teamいわむらジュ
ニア』というジュニアチームを設
立後、18歳以下のジュニアの正会
員が新たに60人を超えましたので、
稼働メンバーの平均年齢は劇的に
下がりに、ゴルフ場の印象もここ2
年で様変わりしました。若年層向
けの会員権の販売は、名乗料5万
円、年会費5万円、18歳以下の年
会費は半額と営業努力により、メ
ンバーコストを格安維持して新規
ゴルフアー創出のために間口を広
げていきます。

市販最大風量で素早く支度ができ
ます。男子風呂にはヘアスプレー、
ヘアジェル、ヘアワックス等若者
向けアメニティを配置しました。
その他、ランチメニューも若い女
性と若者ゴルフアーを対象に次々
と新しいメニューを取り入れてい
ます。

ジュニア育成としては、まず
『Teamいわむらジュニア』という
正会員が条件のジュニアチームを
設立し、10組40人規模の『いわむ
らカントリージュニアワールドサ
ーキット』を毎月開催し、日本大
会、世界大会、プロツアーへの推
薦枠を設けています。それだけで
なく、ジュニア全員にザ・ファー
スターを受講させており、ジュ
ニアから技術のみならず、ゴルフ
アーとしてのエチケットやマナー
も強化しています。チーム専用マ
イクロバス、合宿所も準備しまし
た。コロナ禍も要因の一つありま
すが、このような地道な積み重ね
が、より若年層の増加につながっ
ていると思っています。

ウスに入らなくても済むアメリカカ
ンセルフを導入しています。これ
により格安かつ強力なコロナ対策
により、若者のカプルのみなら
ず、年配のカップルによる利用も
増加して喜ばれました。今後は夏
の暑さ対策として早朝、薄暮のス
ループレーを強化していこうと検
討しています。9番、18番ホール
に照明設備があるため、今後ナイ
タープレーも視野に入れコース改
造しています。さらに時間の有効
活用と暑さ対策、紫外線対策のた
めに早朝のアーリーバードシステ
ムの採用を検討しています。5月
9月にかけて4時半〜5時にス
タートして通常ラウンドのトップ
スタートの7時半〜8時頃までに
スルーで18Hもしくは9Hラウン
ドするようなニーズに応えていき
たいと思います。

かなり早い段階で考えられるあ
らゆるコロナ対策を徹底的実行し、
中部地区でも高い評価をいただき、
来場者に安心感を与えることがで
きました。今回は施策の一部の報
告となりましたが、若者のニーズ
に合ったサービスを機動的に提供
できる様に日々努力し、着実にそ
の成果を上げていきます」

次は日吉ハイランドC（岐阜、
18H）の小栗大樹支配人。
「当倶楽部では、若者に対してマ
ナーやルールの声掛けというのは、
フロント周りやマスター室周りで
私を中心に積極的に行うようにし
ていますが、今コロナ禍で増え
ている若年層を取り込む施策をし
なければならぬとわかっていて
も、なかなか新しい事ができてい
ないのが現実です。

また、若年層とベテランゴルフ
アーでルールマナーに対して摩擦
が起きてしまっていることも事実
なので、理想としてはゴルフ動画
を上げている芸能人ゴルフアーや、
プロがマナーを伝えながら発信し
てもらえるのが一番効果がありそ
うな気がしていますが、私がか
動いているわけではありません。

唯一ですが今現在、GDOと30
代以下の若い年齢層を対象とした
プランでスロープレーの防止の為、
ハイランドの時間を設定したり、
前の組みとの間隔を設定したりし
て守れなかったら定額、守れたら
その価格から割引する——といっ
たプランを作成中です」

次はKoch黒潮CC（高知、36
H）の八木敦士副支配人。

「当クラブ内では、若者にターゲットを絞ったキャンペーンは開催しておらず、道路開通企画や日時指定などで値引きを行った結果、高知県ではプレー料金が比較的高い当クラブにイベントデーを利用する県内外の若者が来場しているのが現状です。高知県下では、単価が安いゴルフ場にルールもマネーも知らない若者たちが増えているので、県のゴルフ協会としては各ゴルフ場にポスターを配布して周知する予定だそうです。

今後、当クラブとして若者にスポットを当てて集客する予定はありません。ワクチン接種後の県外客をターゲットに旅行会社とタイアップしたり、関西地区へ広告宣伝等で営業をしていく予定です」

本特集の最後は、塩嶺CC（長野、27日）の山田祥雄常務取締役に登場いただく。なお、塩嶺CCの関連会社には練習場の並柳ゴルフガーデン（同県松本市）がある。「コロナ禍で若い方の来場がとも目に付くようになりました。プレーする方はもちろんですが、友人や恋人がゴルフ練習をするのを座って見学に来るといったパターンがとて増えました。プレーしな

い方にもゴルフの関心は高まっており、打っているところを一度見てみたいというに欲求に繋がっているようです。

あとは若い方は3〜4人のグループで来場が増えました。そのような中これまで若い方に見られなかった行動は、手ぶらで来場されてクラブを1本レンタルをし、打席を利用する方が増えたということです。重たいキャディバッグを担いで練習場に繰るのでなく、バッテリーセンターに行くような感覚にゴルフが少しだけシフトしてきたのかもしれない。

並柳ゴルフガーデンは支配人がPGAのティーチングプロの資格を持っていて、初心者を対象にレッスンを無料にし、少しでも上達したいという方のサポートに徹するという趣旨のイベントを毎月開催しています。

参加者はボール代だけかかる費用もリーズナブルですし、初心者からすると「プロ」のレッスンという響きはハードルでしかなく、自分には関係ない世界だと考える方も多く、その部分の意識の壁を取り払い、初心者の方が参加しやすい環境を整えました。

1日2部制にして一回の定員は8名に設定。ですが、申し込みが多く各部12名の参加者で開催しました。お断りした方も多数おりましたので、ゴルフを始めてみたい習ってみたいというニーズは現在は強く、何か始めるきっかけ・上達する機会があれば若い世代はリアクションしてくれるんだなと感じました。

グループ会社の塩嶺CCも近隣にあるので、今後はコースデビューしていかない方をコースに3〜5H程度のプレーで連れて行ってあげ、ゴルフデビューのプレッシャーからの解放、ゴルフ場という場所が敷居が高く行きづらいという意識の改革をしてあげるところまでの一連の流れをピギナーコースのセットとして、初心者の方にはサービス提供していきたいと考えています」

なお、塩嶺CCではコロナ禍で若年層が増えていることもあり、昨年度から〇名義書替料金減額キャンペーン（44万↓27万5000円）を実施している。2名以上の同時入会でさらに5万5000円減額し、50歳以下の方は分割支払いもOK。年齢の割引等は行っていないが、40歳代の入会が例年に比べ非常に多いという。他のアクティビティが制限される中で、制限のないゴルフのプレー頻度が増えて〇この先もずっとゴルフを続けたいし、どうせならこの機会に会員になりたい〇といった動きがあるという。

以上、10コースからコロナ禍でゴルフ場が取り組む〇若年層の囲い込み〇、そして課題についてコメントをいただいた。感謝申し上げます。コメントからもわかるように、若年層にゴルフに興味を持ってもらい、そして始めてもらい、続けてもらいたいという、ゴルフ業界の長年の願いが、思いもかけぬコロナ禍がきっかけで、タイムリングや取り組み方次第では現実のものとなる可能性がある。



名義書替料金減額キャンペーン（塩嶺CC）